

【概 要】

平成28年度 東京都自立支援協議会第2回本会議 グループ討議記録（第2グループ）

〔第2グループ出席者〕

海老原副会長（進行）、河井委員、近藤委員、柴田委員、出保委員、西脇委員、古川委員

海老原副会長	この一年の活動について感想意見をいただければと思う。 まず、人材育成について。どのような相談支援専門員が望まれるのか。
○	説明の仕方がわかりやすい、話しやすい人。
○	協議会の本会議が2回で、1回の会議で充分話し合うことが出来なかったと自分自身では思った。作成した図2「障害者（児）ケアマネジメントの過程における相談支援専門員等に求められる視点、行動」は、丁寧で活用できると思った。どのように活用するかが課題。人材に加え、人員の確保も課題。話し合ったことを地域にどう還元できるのが課題。
○	相談する立場の方の中に、計画相談の必要性を理解していない人が多い、支給が出ればよいと思う人が多い、特に児童。 相談支援専門員へのアンケートでは、「支給決定をとにかく早くと言われる」、「一人当たりの件数が多い」、「内容を深めたいが余裕がない」、「モニタリングに時間がかかけられない」、必要性はあるがきちんと提供できるような体制が出来ていない。制度としてこのままでよいのかとの話あり。ここでの協議を地域に活かせるかというところと難しいところがある。
○	図をまとめたが、どうやって区市や現場に還元するかが悩み。 交流会やセミナーで他地域の人と話が出来るのは良い。現場の悩みを聞くこと、他の観点からの話は役立つ。
○	他自治体でどうやっているのかを聞くことは役に立つ。 計画100%作成を目指して、区では初任者研修、現任研修をやっている。区では基本的にセルフは作らないということで行っている。 計画を作ったけれど差が大きい場合がある。人員が一人のところ、複数のところがあり、区の中でどのように共有化していくかの課題はある。
○	第3期は計画相談達成が半分くらいで数の問題だった。今期は質の問題になってきた。 交流会ではいろいろな地域のことを聞け、ネットワークづくりの工夫など勉強になった。通常の時間以外に時間を割いていると印象に残った。
海老原	個人の印象として、23区と市で温度差がある。文化や人の違いがあるのか。地域別でブロック活動があってもよいのではないか。
○	協議会で、特別区は人材育成に力を入れているが、多摩ではそうでもない印象がある。
海老原	区は規模が大きすぎて形骸化はしていないのか。
○	3区は型通り、多摩は特色がある。行政か、民間のどちらが力を入れているのかによ

	っても違ってくる。23区の中でも違いはある。
○	豊島区は行政が事務局、去年2、3回研修会を実施。相談計画をどのように立てるか、工夫しながら行っている。 精神の場合は本人に対する対応、知的だと親の意見が入ると難しいのではないかと感じた。
海老原	本人と事業者の相互作用がないとうまくいかない。 都協議会の議論をどう還元するのか。他の会議体との関連を含めてご意見を伺いたい。
○	各地域で検討している。地域から来る人も限られている、頻度を増やししながら、より地域の状況を知る、そのような機会が増えていけばよい。ブロックごとに行くこともよいと思う。
海老原	現場は忙しく、協議会の成果をホームページにアップしてもアクセスしない。
○	成功例を多く集めること。同じようには出来ないが、ヒントがあると思う。 セミナーも土・日など、工夫して、なるべく多く参加できるように、参加したところが地域に還元していくことが大切。 失敗事例も反面教師にはなる。
海老原	失敗していることに気が付かないのがよくない。
○	都は規模が大きいので、地域を通じてでないとな周知が難しい、地域協議会を通すなど。交流会のやり方を工夫する必要もあるか。 行政説明の場で時間を使って周知することも考えられる、短い時間になるが。
海老原	具体的にはどうか、例えば、会長会をやるとか。
○	地域協議会会長を一堂に集めるのは大変。ブロック割も一つのアイデア。10から20、15くらいの自治体でブロック構成が丁度よい。
○	多摩の6市で情報交換会をやっている。市の協議会が成果を持ち寄っている。刺激し合う面がある。調布市が支援ノートの「iファイル」をつくったら、小金井市が「さくらシート」を作るなど。成果物を出すことによって刺激しあうということがある。相談部会の交流での意見交換や気付き等があり、意味がある。
海老原	ブロック会議について
○	誰が出てもよい会議、15時から17時で行い、あとは交流会。他市の状況も聞ける、やる気があれば全都でできる。
○	各地区で専門員の連絡会をやっている。事例検討会もやっている。ブロック会議は効果的と思う。
海老原	都の協議会で話し合っていることは地域に伝わっているのか。
○	区では話は聞いていない。もっと地域に深めていくため、このような会議を多くする。
海老原	地域から上がってくることも大事。地域協議会の声を吸い上げる点が薄い、工夫が必要なのではないか。

	<p>○ 都への要望などが地域で出たことはない、議論に出てこない。都の方から要望を出して、働きかける必要はあり。</p> <p>連携したい気持ちはある。以前世田谷区が要望を出したが、そのようなことが出来るとよい。都協議会が検証する仕組みがあるとよい。</p>
	<p>○ 地域で解決できないことがある。共通の課題とみられるものは都に持っていき施策等財政支援を考えてもらうきっかけになればと思う。</p> <p>医療面でも、広域的にやってほしいことはある。都協議会として要望をあげてほしいと思う。</p>
	<p>○ 地域協議会の課題を都にどのように伝えるか。都協議会に直接伝えることはしていないが、行政同士のやり取りでは情報が入る。現在はそういうルートで情報は入っている。入り方がこれでよいのかは課題あり。</p>
海老原	<p>推進協との連携について、推進協にあげることは可能か。</p>
	<p>○ 資料としては報告という形で出している。</p>
海老原	<p>言ったら変わることで、モチベーションが上がると思うが。</p>
	<p>○ 府中市では協議会委員が推進協に入っている。委員の多くの人がダブっている。道筋としてはある。しかし、協議会で課題を拾い切れていない。セルフプランが多いことを議論したが、言ったままで終わりではだめ、推進協委員として入るのが大事である。</p>
	<p>○ 委員になる前は、都の協議会と地域のつながりはわからなかった。すぐに反映されなくてもよいが、地域の意見を都協議会として発信してほしい。</p>
海老原	<p>生活をしていて、困っていることを都協議会で話し合いをするために必要なことは。まわりの知合い、知人の意見をまとめる場はあるか。</p>
	<p>○ 当事者がいろいろなところに参加していくしかない。</p> <p>区では意見をまとめる場はない。そのような場があるとよい。</p>
海老原	<p>都協議会活動に委員として参加した感想について</p>
	<p>○ 制度が変わるにあたり、相談支援専門員はこれから質の向上を図るためにどうすればよいのか、アイデアを出してもらえると助かる。</p>
海老原	<p>研修の体制やスキルアップの仕組みについてなのか。</p>
	<p>○ 仕組みをどうするかは大事。「主任」が出てくるがどうしていくのか。他県でやっている専門研修をどうするのか。その辺の議論が出来たらよい。質の向上につながる。</p> <p>どの地域でも悩んでいる。スキルアップの取組を行っている自治体もあるが手探り。仕組みがあるとよい。</p>
	<p>○ スキルアップとして専門研修も検討しているが、インセンティブの問題もある。今、国の動きが変わってきて、国の施策との関係もある。高齢障害の問題もある。国の動向を見ながら、情報を受け取り、それをどのように広めていくかを議論していただくと助かる。</p>
	<p>○ 都が各地区の要望、課題を吸い上げ提言していく仕組みが必要。</p>

	報酬単価の問題もある。
海老原	都と地域の縦の連携は必要か。報酬単価の問題は国の問題。 来年度以降協議会で話し合ってもらいたいことについて。
○	当事者のことについて、もっと詳しく話し合ってもらいたい。地域での話をもっと増やしてほしい。区でももっと当事者が参加する会議があればよい。
海老原	都からも、地域に仕掛けてほしいということか。
○	共通する議題がある。高齢者障害、相談支援専門員の質向上、医療ケアなど。その中から都でやること、都協議会で議論することを取り上げてほしい。
海老原	ブロック会等から提言をあげることはあるか。
○	6市の会議で提言までには至っていない。
○	地域では集まると、人がいない、物もない、金もないという話になってしまう。取りまとめる場は必要。 部会でもネタ切れ気味、活性化しない原因。 府中市では2部会、相談部会は固定で、もう一つは毎年を取組で変わる。目標を分かりやすいものにして行っている。部会がベース、活性化して、地域の生活に反映させていく工夫をしている。 自分自身はいろいろな会議に参加し、これ以上会議があるとパンクする。
海老原	まとめとして、 ・交流会、セミナーを通して、他の自治体の取組は参考になる。 ・人材育成の仕組みを地域でやっていくには難しく課題があるので、そこには工夫が必要と意見があり。 ・地域協議会との関係性、連携についてはもう少し細かく地域ブロック分けをしたほうがよい、地域の協議会との関係を深めていくこととの意見あり。 ・地域から都への反映、つながり、都へ上げる仕組みがあればよい。また、協議会で話が都に反映できる仕組みがあればよいとの意見があった。 ・国の制度に絡んで都の協議会として協議していくことが大事との意見をいただいた。